

医師・看護師 ふやせ！ 10・27中央集会 成功めざす ニュース

2006年10月30日 No.9 日本医労連増員闘争本部事務局 fax 03-3875-6270 E-mail: zouin@irouren.or.jp

日比谷野音に5300人が集結！ 沸き立つ歓声、ふやせのシュプレシ！

「医師・看護師ふやせ 10・27中央集会」は、全国から5300人を集めて、日比谷野外音楽堂で開かれ、会場一杯に埋め尽くしました。「医師・看護師をふやせ」の集会アピールを採択し、銀座をパレードしました。

あいさつした日本医労連の田中千恵子委員長は、深刻な医師不足と看護師不足によって地域は医療崩壊の危機にあると指摘。同時に「医療の問題は国、政治の責任だ。医師・看護師増員を求める世論は大きく広がっており、署名は100万人分を突破した」と報告し、運動をさらに広げようと呼びかけました。

落語家の林家木久蔵さんとオーストラリア看護連合ビクトリア支部のジャン・ブラウリッジ副会長が連帯あいさつ。「過去に何度も入院したが、看護師さんたちのおかげで元気でいられている」（木久蔵さん）とエール。集会には、当日までに498病院・診療所の院長・経営者からと87市町村長、民主・共産・自民の18国会議員から賛同が寄せられました。



リレートークでは「街頭で署名を訴えたところ、45分間で840人も集まった」（東京都立豊島病院の看護師）、「看護師はぎりぎりの人員で、自分を犠牲にしながら働いている。患者さんから『体に気をつけて』といわれることもある」（千葉県循環器病センターの看護師）、「県内の自治体病院では一度に四人も内科医が退職したところもある。医師不足は深刻」（秋田の内科医）などと報告されました。



厚生労働省に向かって、医師・看護師ふやせのシュプレヒコール

日比谷野外音楽堂では、お世話様になりありがとうございました。

11月19日放送分、笑点にてお約束果たしました。皆様でござんください。お元気で！林家木久蔵



あちこちから感激の声！

10年ぶりの5000人集会に、参加運営に関わった青年たちからも感激の声が寄せられています。

こんばんは。昭和大学の深沢拓方です。皆様、昨日の集会大変お疲れ様でした。私は、初めてナースウェーブとしての集会に参加させて頂き、大規模の全国集会に本当に感動致しました。全国の医療の仲間が、同じ境遇の中で、同じ問題意識を高めている事に改めて、背中を押される思いです。今回の集会の大成功を機に、これからの活動や運動の継続性の意義を強く感じます。看護師確保法の改正を実現させ、人員増員が現場レベルで実感できる事が必要だと感じます。

今後も、益々の地道な活動を頑張りたいと思います。

(企画に関わった深沢さん)

民医労看護部会で新潟民医労の方と交流して、東京医労連のおじ様たちとカラオケしてました(〇〇)!

ナースウェーブは5300人の集会となり大成功でしたね!

クイズの人数把握はできず、全国のみなさんをごっかりさせていただきましたが…とても楽しい一日でしたo(〇)o 次の目標は、何しようかな～(仁井真紀さん)



銀座パレードの先頭を歩く青年たち。司会おつかれさまでした！



健友会の高橋睦子です。今日は本当にお疲れさまでした。

行き届かない面は多々あれど、こんなに多くの医療者の集会に参加できて私は本当に幸せです。挑戦できた司会の任務、果たせたことはゴールであり、スタートでもあります(●〇〇●)

送り出してくださった職場の仲間へ感謝し、また明日からも大事に生きていきたいなあ～

秋斗真っ只中ですね。民医連は高齢者実態調査もありますね。

健友会は、厚生委員に棚上げされた自治体要請もあるなあ…健康まつりもこれからだし、若手仲間と署名集めの取り組みして皆と成長もしたいなあ(^^) / (司会の高橋睦子さん)

南部の藤田です。

なれない裏方で戸惑いましたが、團結する場はこうやって創られているんだな、と、少しわかりました。

50代の先輩たちがいるうちに、もっともっと仲間を増やさないとダメだ！と実感しています。

明日からもがんばろー(〇〇) / !

